

# みーつけた!

人権啓発アニメーション18分



## 制作の ねらい

近年、子どもたちを取り巻く環境の変化によって、子どもの「生きる力」の希薄化が問題となっています。「どうせ自分なんか・・・」と劣等感を持ち、自分に自信の持てない(大切にできない)子どもが増えていると言われています。これは、子どもたちが「生きることの素晴らしさ」を実感できないところにその一因があるのではないのでしょうか。子どもたちが集団内における他人とのかわりの中で、自己の存在が認められ、相手の存在を認めることができれば、そのことが自分で自分を認めることとなり、「生きることの素晴らしさ」を実感できる契機となるのではないのでしょうか。

このアニメーションでは、お互いを認め合うことの素晴らしさや、そのためには自己表現(コミュニケーション)することが大切であることを描くことで、「生きることの素晴らしさ」や「命の尊さ」について考えていただきたいと思います。

販売価格(消費税別途)

16mmフィルム 150,000円  
VHSビデオ 55,000円  
(学校価格 25,000円)

## 声の出演

林田俊平 …… 松本 梨香  
坂本真樹 …… 松来 未祐  
松本優太 …… 佐藤まさよし  
田村志穂 …… 本間 ゆかり  
岡田健 …… 森田 チアキ  
先生 …… 田中 敦子  
八百屋の主人 …… 室園 丈裕  
校長先生 …… 中 博史

## スタッフ

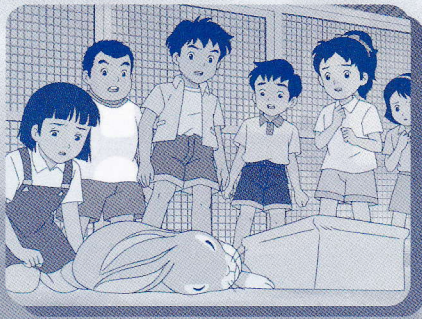
原作/脚本 …… 橋本 美佐子  
監督 …… 藤井 正和  
絵コンテ …… 森田 洗光  
作画監督 …… 吉崎 誠  
原画 …… 菊田 武勝  
動画 …… 鳥潟 美佳  
美術 …… 田中 静恵

彩色 …… スタジオ・キャッツ  
撮影 …… リバティシップ  
音響 …… 本田 保則  
音楽効果 …… スワラ・プロ  
アフレコ …… タバック スタジオ  
MA …… スリーエス・スタジオ  
フィルム現像 …… ヨコシネ ティー・アイ・エー

プロデュース …… 鈴木 光昭  
制作協力 …… リバティシップ  
シネアート

制作 …… (株)アクシス  
プロデューサー …… 大野 光司  
総合進行 …… 安部 知子  
二宮 秀介





「委員長と副委員長の責任じゃないか！」  
「ほくたちだけが責められるのはおかしいよ！」



松本優太



岡田 健



林田俊平



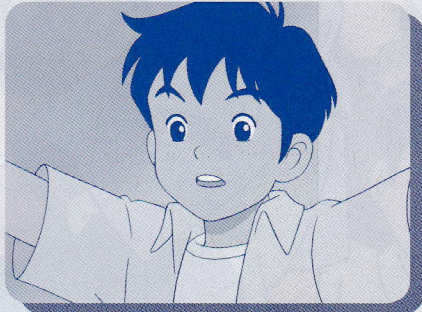
坂本真樹



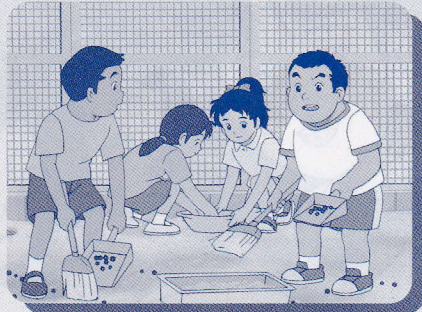
田村志穂



「だめっ！」「えっ？」  
「なんだよえらそうに！おまえのウサギじゃないんだぞ！」



「それで黙ってたら誤解されるって分かったんだよね」  
「自分が思ってることはちゃんとと言わなきゃ  
誰もわかってくれないよ」



「坂本、毎日こんな大変なことやってたんだな…」

# みーつけた！

## 視 点

- ・命の尊さ
- ・互いを認め合うために必要な自己表現力
- ・「自分や友達のよさ」を見つけることにより、互いに自信を持って生きていくことの素晴らしさ
- ・学級集団の協力・協調の大切さ



**からすし** 2学期の始業式の日、飼育委員会の当番になった4年2組に俊平が転校してくる。

隣の席になった真樹は、思ったことをうまく表現できない内向的な性格で、クラスのみならず無視されていた。そんな真樹をおもしろ半分て飼育委員長に祭り上げるクラスメート。俊平も副委員長を押し付けられるが、みんなは何かと口実を作っては飼育当番をさぼる。何も言わず黙々とウサギの世話をする真樹を見ながら、俊平は「どうして何も言わないんだろう」と不思議に思う。

ある日、ウサギが一匹死んでしまい、真樹と俊平はみんなから責められる。責任を感じて、ますます熱心にウサギの世話をしようになる真樹。「自分がウサギを守らなければ」と決意した真樹の中で、何が少しずつ変わりはじめる。

しかし、赤ちゃんウサギを抱こうとしたクラスメートを厳しく制したことが誤解を呼び、再び真樹はみんなからつまはじきにされてしまう…。



**鑑賞にあたって** 子どもたちは、日々の学級や学校生活に「安心感」を持ち、仲間と共に自分のよさを発揮しながらいきいきと活動し、成長していくことが大切です。

受容してくれる仲間の存在は、一人ひとりの子どもの人権を守る基礎であり、「自立と共生」を育成する上で欠くことは出来ません。

クラスの中で「どうせ自分なんか…」と劣等感をもち、疎外感の中で、自分の言いたいことははっきり自己主張できない主人公の少女。転校生の少年は、そんな少女とクラスメートの関わりをもどかしく思い、自らの体験を元に「自分の言葉で表現することの大切さ」を訴えます。

それぞれの見方考え方が変わり、見つけた大切なもの。それは、一体何だったのでしょか。学級で考え話し合ってみてください。

お求めは・・・

## 北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911  
電話048-810-5277 Fax048-876-2955



## 東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3613 FAX.03-3535-3632

関東営業所	東京都中央区銀座3-2-17	〒104-8108	☎ 03-3535-3631
札幌出張所	札幌市中央区南一条西7-4	〒060-0061	☎ 011-231-1439
関西営業所	大阪市北区梅田1-12-6	〒530-0001	☎ 06-6345-9026
広島出張所	広島市中区国泰寺町1-5-31	〒730-0042	☎ 082-249-3930
高松出張所	高松市本町11-7	〒760-0032	☎ 087-851-3766
名古屋出張所	名古屋市中区錦3-24-3	〒460-0003	☎ 052-971-0923
福岡出張所	福岡市博多区中洲4-3-18 福岡東映プラザ内	〒810-0801	☎ 092-262-3101